

立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR)

国内研究

2011年度研究成果報告書

研究代表者	所属・職名		氏名	
	コミュニティ福祉学部 福祉学科		浅井 春夫 印	
研究課題	沖縄における戦後の社会福祉労働状態史の研究			
研修期間	2011年4月5日 ~ 2012年3月30日(359日間)			
経費	年度経費	SFR助成額	所属学部からの補助額	合計
	2011年度	469,226円	0円	469,226円
主な滞在場所 及び 研究機関名	滞在場所	研究機関名		
	沖縄県宜野湾市	沖縄国際大学・沖縄大学地域研究所		

研究成果の概要(図・グラフは使用しないこと)

国内研究は沖縄の戦中戦後の児童福祉労働の歴史を、聴き取り調査、文献研究などですすめてきたが、年代的には1944年~50年までが中心的研究対象とならざるを得なかった。戦後直後の福祉を象徴する孤児院における入所児と従事者の状況を把握することに力点を置いて研究をすすめた。

沖縄戦はまさに戦後の復興は“ゼロからの出発”とならざるを得なかった。そうした現実から紙媒体の史料がほとんど残されていない現状がある。多くの市史・村史、団体史などの関連部分を整理し、市史編さん室や諸団体に史料の確認を行ってきた。

また各孤児院の所在地と従事者、入所児(当時)の方々に聴き取り調査を実施してきた。実地調査を行い、聴き取りができた孤児院は8か所で以下のところである。

【北部】○は現地確認

辺土名孤児院○、田井等孤児院○、瀬嵩孤児院、古知屋市孤児院、久志孤児院、福山孤児院○、漢那孤児院-宜野座孤児院(大久保孤児院)○

【中部】コザ(胡差)孤児院○、石川孤児院○、前原孤児院

【南部】首里孤児院○、糸満孤児院※所在不明、百名孤児院○

戦後直後の各孤児院の状況を、開設期間、収容児童数、職員数、運営上の特徴などを整理した表を作成し、当時の全体状況を一覧で把握できるようにしている。

また当時の写真などを収集し、パワーポイントで紹介できるようにしている。

国内研究とその後の研究のまとめとして、以下の題名で出版を計画している。原稿として仕上げている章は○を付しておく。

仮題『戦争を生き抜いた子どもたちと孤児院従事者の歴史

—戦後沖縄・孤児院時代の空白を埋める—』

○はじめに—戦後沖縄史と児童福祉の交錯—

○第1章 戦後児童福祉史のなかの孤児院—米軍占領下の孤児院の変遷—

○第2章 戦後直後の孤児院政策と児童福祉政策の変遷

—孤児院囲い込み政策としての孤児院と子どもの人権—

研究成果の概要 (つづき)

- 第 3 章 孤児院従事者の入職経過と労働実態
- 第 4 章 孤児院所在地とその記録の収集
- 第 5 章 コザ孤児院と高橋通仁院長の歩みーコザ孤児院の収容人数 800 名の実際
- 第 6 章 田井等孤児院と従事者群像ー収容所と孤児院・学校にみる息吹ー
- 第 7 章 ひめゆり部隊生存者と孤児院
ー本村つる先生、津波古ヒサ先生の聞き取りを通してー
- 第 8 章 孤児たちの戦中・戦後史
ー「うるま新報」の「身寄を求む」のなかの子どもたちに人生ー
- 第 9 章 石垣救護院とサイパン孤児院、幻の宮古孤児院
ー本島以外の孤児院の記録ー
- 第 10 章 戦後沖縄福祉研究の方法に関して

【補足資料】

- 1) 文献史料一覧
- △ 2) 戦後沖縄児童福祉年表

以上の構成で出版を準備している。出版社は明石書店を予定している。出版の意義としては、従事者の労働状態史からアプローチした研究はなく、戦後沖縄の社会福祉の後進性を検討する上で意味のある研究となる。

また今後、雑誌での発表、研究会報告などについては、各章を順次発表していく予定である。学部の『研究紀要』及び学内学会の『まなびあい』には投稿する予定で準備している。

キーワード (研究内容を適確に表しているものを5項目で記入)

[孤児院] [児童養護施設] [児童福祉労働史] [沖縄戦] [占領政策]

研究発表 (研究によって得られた研究経過・成果を発表した①～④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。)

- ①雑誌論文 (著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)
- ②図書 (著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)
- ③シンポジウム・公開講演会等の開催 (会名、開催日、開催場所)
- ④その他 (学会発表、研究報告書の印刷等)

- ①「沖縄で考えつつあること、考え続けたいこと」
ー記憶として記録すべきこと、記録として記憶すべきこととは何かー
立教大学コミュニティ福祉学会『まなびあい』第4号、2011年11月
- ②□浅井春夫『福祉・保育の学び・研究』(仮題)、建帛社、2012年度中に刊行予定
①の論稿を所収予定
- ③ 現在は予定なし。
- ④ 沖縄国際大学の授業「基地と住民運動」(石原昌家名誉教授)で1講義時間をいただいて研究報告(1月18日)
コミュニティ福祉学部教授会での研究休暇報告(5月16日)